

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

2025年 4月 16日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会長 藤 洋 作 様

所属部局 理学研究科

職 名 理学研究科長

氏 名 佐々 真一

助成の種類	令和6年度・社会連携助成		
事業名	女子中高生および大学生による理学探究活動推進事業		
実施期間	2024年 7月 4日 ~ 2025年 3月 31日		
実施場所	京都大学理学研究科セミナーハウス、理学研究科6号館化学学生実験室、オンライン 他		
参加者	総数 652名	内 訳 COCOUS-R zoomオンライン会議・発表会 参加高校生 のべ487名 女子高生のための京都大学理学部案内 参加高校生 123名 関東SSH指定7女子高校等研究交流会 参加高校生 42名 その他、引率教員等	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(小冊子1種類)		
会計報告	事業に要した経費総額	7,743,592 円	
	うち当財団からの助成額	2,000,000 円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 運営費	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	物品費	248,855	6,055
	旅費	466,635	400,234
	給与・謝金	4,151,446	1,593,711
	印刷・製作費	2,825,837	0
	その他	50,819	0
合 計	7,743,592	2,000,000	
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 助成を頂いたことで、事業を円滑に進めることができました。ありがとうございます。		

成果の概要／田中 耕一郎

名称：女子中高生および大学生による理学探究活動推進事業

概要：

京都大学理学部における女性学生比率の向上を目指して、女子中高生の理学への興味関心の一層の喚起と理学部での生活や将来への視野の理解の向上を目的として、主にオンラインで、また対面によるイベントも取り入れ、主に4つの事業を実施した。

1. 事業の日時等

(1) 関東 SSH 指定 7 女子高校等研究交流会

2024年7月23日(火)～25日(木)

対象：下記の高校の希望者が参加

埼玉県立熊谷女子高等学校

埼玉県立川越女子高等学校

埼玉県立浦和第一女子高等学校

群馬県立前橋女子高等学校

栃木県立宇都宮女子高等学校

茨城県立水戸第二高等学校

お茶の水女子大学附属高等学校

(2) 女子高生のための京都大学理学部案内

後述の理学女子会の主導で下記のイベントを実施した。

- 第4回女子高生のための京都大学理学部案内

日時：2024年8月25日(日) 9:30～13:00

場所：理学研究科セミナーハウス

- 第5回女子高生のための京都大学理学部案内

日時：2025年2月23日(日) 9:30～13:00

場所：理学研究科セミナーハウス

(3) 女子高生向け理学探究活動推進事業 COCOUS-R (ここ あす あーる)

- オンライン会議

日時：2024年6月～2025年2月 各高校月2回程度

場所：オンライン (Zoom)

- 現地中間発表会・

日時：2024年8月5日(月)～6日(火)

場所：京都大学理学研究科セミナーハウス

(4) 理学女子会

- 対面での会議

日時：2024年5月9日(月)、6月6日(木)、8月2日(金)、9月20日(金)、10月31日(木)、12月3日(火)、2025年2月5日(水)

場所：総合研究5号館B14学際社会交流室

2. 内容

(1) 関東SSH指定7女子高校等研究交流会

理学研究科と生命科学研究科 附属放射線生物研究センターとの共催。理学研究科21名の高校生が各専攻の講義や実験実習に参加した。

(2) 女子高生のための京都大学理学部案内

2024年8月25日(日)・2025年2月23日(日)の2回開催し、1回目は65名、2回目は58名の女子高校生が参加した。研究者の講演のほか、理学部・理学研究科に所属する女子学生を交えた相談会を実施した。

(3) 女子高生向け理学探究活動推進事業 COCOUS-R

16校から38名の京都大学理学部や京大理系学部を志望する女子中高生が参加した。月2回の大学生とのオンライン会議のほか、2024年8月5日(月)~6日(火)には、京都大学現地で中間発表会を開催した。スライドおよびポスター発表に加え、参加している女子高校生同士や大学生が直接交流する機会を提供した。本事業実施に当たっては、学校参加として、女子中高生を指導する高校教員にも連絡をとりながら事業実施を進める体制を取っている。

(4) 理学女子会

理学部・理学研究科に所属する女性学生からなる理学女子会を2022年度に結成し、引き続き活動を行っている。電子掲示板 Slack による情報交換や調査、対面での会議のほか、下記について実施した。

- 理学女子ランチ会

理学部・理学研究科の女性学生9名が集い、お互いがもつ情報について交換した。

- 女子高生のための京都大学理学部案内

上記1.(2)、2.(2)の通り。

- 理学部・理学研究科 公式Instagram

2023年3月31日より、理学部・理学研究科 公式Instagram

https://www.instagram.com/kyodai_science/

の運用を行っている。

3. 成果

多くの女子高校生に京都大学理学部の魅力を伝えることができた。例えば、「女子高生のための京都大学理学部案内」イベント参加者へのアンケートでは、イベント参加後に「京都大学理学部で学んでみたいと思った」の項目に対し、「はい」と回答した方がいずれも約85%であり、実りある事業を実施できた。

4. 備考

本事業の実施において、京都大学男女共同参画推進センター「女子中高生向け魅力見える化コンテンツ作成等支援事業」による支援を受けた。